



木口木版

こぐちもくはん

造形ファイル <http://zokeifile.musabi.ac.jp/>

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

Q

R

S

T

U

V

W

X

Y

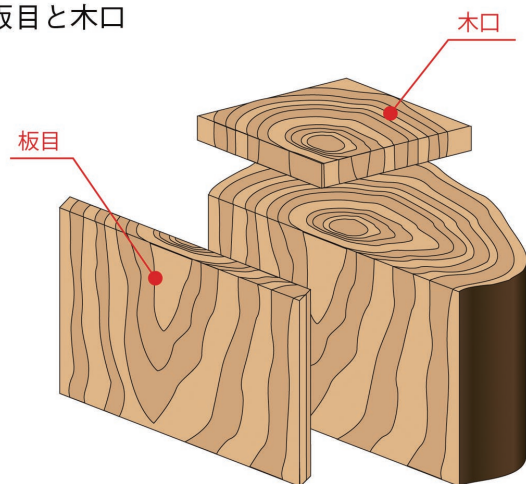
Z

数字



木口木版用版木

板目と木口



概要

木口木版は、木を輪切りに切り出した表面が硬質な木口板を版木として使用し、ビュランを用いて彫ることで、精密で繊細な表現ができる木版画です。

木口木版は西洋木版とも呼ばれ、18世紀末にイギリスのビュイックが発明し、平圧プレス機で活字と同時に印刷できることからヨーロッパでは書籍の挿絵として発展することになりました。

版木として使用される木材は、板目の版木よりも硬質で、目が詰っていて密度のある黄楊（ツゲ）や椿、梨、楓などの硬い木材が用いられます。しかし、これらの木材は生産量が少ないことや、木の太さのサイズまでしかとれないことなどから、四角く裁断した木口を接着した寄木の版木も作られています。

木口木版は、彫る前に版木の表面を研磨する必要があります。研磨には耐水性サンドペーパーを使用し、60番程度の粗目のものを使用して表面の傷や切断の跡がなくなるまで削り、次第に番目をあげながら、1500番程度で光沢が出るように仕上げます（鏡面仕上げ）。画材店で購入した版木を用いる場合、ある程度の研磨処理がしてあるものは、240番程度の中目のものから研磨を始めるとよいでしょう。研磨が終わったら、ウエスを使い版面に墨汁を塗布して彫った線を判りやすくします。

彫りには、刃の先端が斜めに切り落とされたビュランと呼ばれる道具を使用します。ビュランは、全体を握り込むように持ち、前方に押し進めながら彫っていきます。ビュランは直進の彫りしかできないため、曲線を彫る場合、版を回転させることができるクッサンと呼ばれる革製の台を使用する場合があります。

印刷には、リトグラフ用と銅版画用のインクを混合して使用します。混合したインクが軟らかい場合、彫った溝にインクが詰まってしまうために少し硬めに調整すると良いでしょう。インクはハンドローラーを使用して、版面に均一にのせるようにします。摺りに用いる紙は雁皮紙などの薄く丈夫な紙を使用します。摺りには、バレンを用いますが、バレンだけで細かい部分が摺ることができない場合には、パニッシャーやスプーンなどの曲面を持つ道具を使用し、擦るようにして摺ると良いでしょう。

摺りあがった雁皮紙は、乾燥させた後補強のため洋紙に貼り込みます（裏打ち）。印刷後の版木は、クラフトテープやプラスチック消しゴムなどを使用して残ったインクを落とした後、版面に傷が付かないように表面を保護して、湿度の高い場所を避けて保管しましょう。

木口木版 制作工程

彫りの準備

版の表面を研磨する

版の表面に墨汁を塗布する

下絵をトレーシングペーパーに転写する

トレーシングペーパーから版に転写する

彫り

試摺り

本彫り

完成

木口木版・彫りの準備



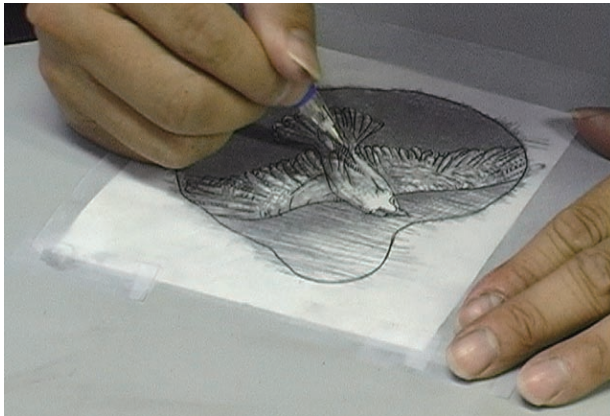
手順 1. あらかじめ版の裏面は傷が付かないように厚紙などで保護しておきます。



手順 2. 版の表面を耐水ペーパーで研磨します。始めは 60 番程度の荒目で研磨して徐々に目の細かいものへと変えていきます。



手順 3. ある程度研磨ができれば、木片使って仕上げの研磨を行います。1500 番程度で仕上げると良いでしょう。



手順 4. 下絵をトレーシングペーパーに転写します。



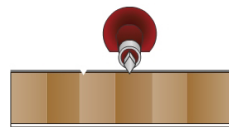
手順 5. 研磨した版木にウエスで薄めた墨汁をすばやく塗布します。



手順 6. 赤いカーボン紙などを使い下絵を版に転写します。

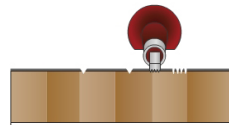
木口木版・彫り

工程 1. ビュランで彫る



カーボン紙で転写した線をもとにビュランで版面を彫っていきます。曲線を彫る場合には、版を回転して彫り進めます。

工程 2. 連発ビュランで彫る



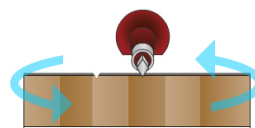
連発ビュランを用いると、一度に複数の平行線を彫ることができます。

工程 3. 彫りの完成



ある程度彫り進めることができれば、版面の状態を確認するために試摺りを行うとよいでしょう。

補足 1. 裏面にコインを貼る



曲線を彫る際に版を回転しやすくするため、裏面にコインを貼ると良いでしょう。クッサンと呼ばれる専用の道具もあります。

木口木版・試摺り



手順 1. 銅版画用インクとリトグラフ用のインクをインク台に出してよく練った後に、ハンドローラーで均一にのばしていきます。



手順 2. ハンドローラーで版にインクをのせます。様々な角度から均一にインクがのるように繰り返しのせていきます。



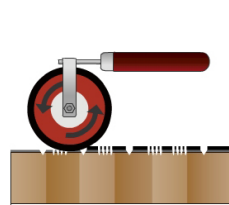
手順 3. 印刷する紙とあて紙をのせてバレンで圧をかけて摺りを行います。



手順 4. 試摺りで版の状態を確認したら、版に残ったインクを取り除き、追加や修正の彫りを行います。インクはクラフトテープを使って取り除くと良いでしょう。プラスチック消しゴムを使う方法もあります。

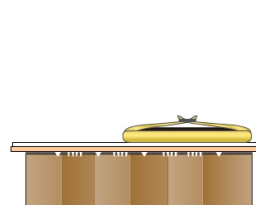
木口木版・本摺り

工程 1. ハンドローラーで版にインクをのせる



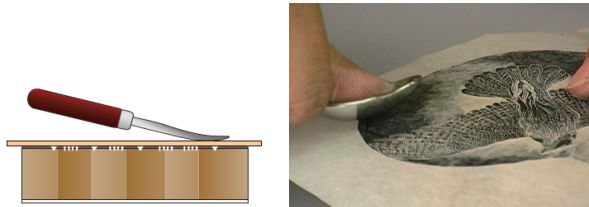
試摺り同様に版にインクをのせていきます。均一にインクがのるように繰り返して行います。

工程 2. バレンで摺る



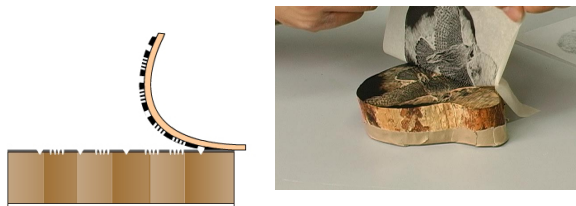
摺る紙とトレーシングペーパーなどのあて紙をのせてバレンで摺ります。

工程 3. スプーンやバニッシャーで摺る



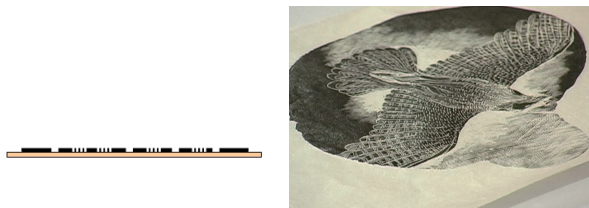
バレンで細かい部分が摺れない場合にはスプーンなどの曲面を使って擦るように摺ります。雁皮紙に摺る場合には、紙の裏側までインクが浸透するため、これを目安にしながら行うと良いでしょう。

工程 4. 摺りの完了



細かい部分まで摺ることができたら、紙をゆっくりをめくります。

工程 5. 作品の完成



摺り終えた作品は、インクが乾くまで乾燥させます。雁皮紙に刷った場合には、乾燥後にしっかりと台紙に裏打ちを行います。